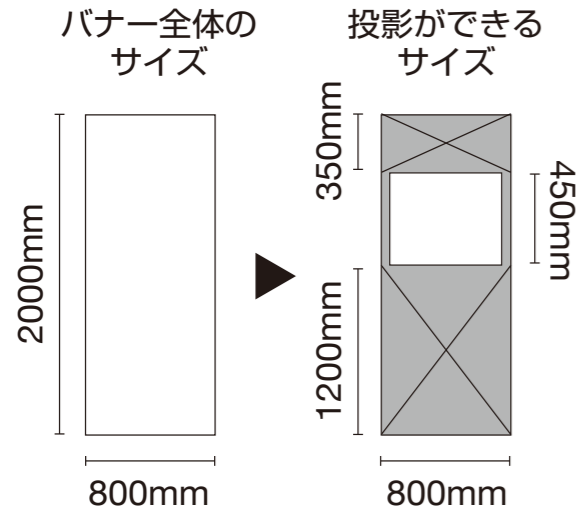


対応バナーサイズ

⚠ バナー素材はプロジェクションバナー専用メディアをご使用下さい



プロジェクターを設置するプレートの高さを約930mmに設定した場合です

- ← 上端から350mmは投影できません（印刷は可能）
- ← 投影が可能な部分 W700mm x H450mm
- ← 下端から1200mmは投影できません（印刷は可能）

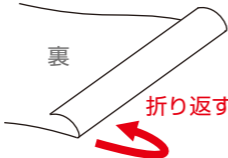
バナーのつくり方

バナーパイプを取り付けるためにバナーの上端・下端ともに50mmの伸ばしが必要（塗り足しを推奨します）です。

伸ばしの部分を裏面側に折り返し、強力な10mm幅の両面テープで固定して下さい。

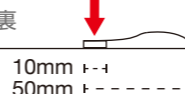


専用メディアはコシがあるので、折り返し時には折れスジの発生やインクの剥がれにご注意下さい。

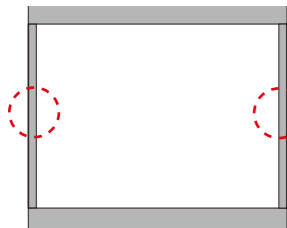


<断面図>

両面テープで固定



投影面の推奨仕様



← W50mmの黒帯を投影面部分の左右に印字して下さい

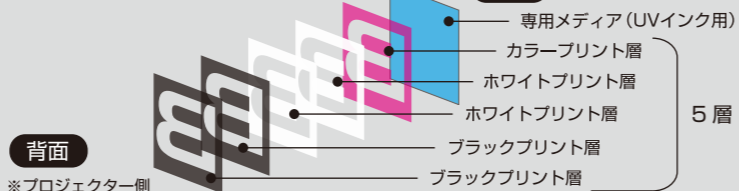
参考：印刷の仕様

UVインクジェットプリンターを用いた右図のような多層印刷を推奨します。（ミラー反転印字 / 遮光性の向上）

● 専用インクジェットメディア

名称	PJB専用 UVインクジェットメディア
品番	PJB125K1W
規格	1,060mm×10M

<バナー面の構造>



この図の構造（印刷方法）は一例です。プリンターやRIPソフト等により、印刷方法は異なります。

プロジェクションバナー PROJECTION BANNER



ご使用になる前に必ず本書をよくお読み下さい



Important notice

大切なお知らせ

- ・プロジェクションバナーは株式会社ベルアドワイズとパナック株式会社の共同開発商品です
- ・転倒、破損等の恐れがございますので、屋外および屋内であっても風が吹き込むような場所ではご使用いただけません
- ・バナーの取り付け後及びプロジェクターの設置後に本体を引きずって移動することは避け、必ず一旦取り外してから移動してください
- ・推奨するプロジェクター及びプリンター等の機器については、機器メーカーの承認を得たものではございません。使用方法及び耐久性などについては機器メーカーの発表に準じます
- ・プロジェクターの使用方法及び使用要件については、プロジェクター機器メーカーの資料をご覧ください
- ・組立ておよび設置時は周囲を確認し、人や物に接触しないようにご注意ください、手が届かない部分は安全が確保された頑丈な踏み台や脚立等を使用するなど、安全には十分にご留意ください
- ・転倒、破損等によるケガや事故については一切責任を負いかねます
- ・万一、製品納入時の不具合等が発生した場合は製品のみ代替提供するものとし、バナー製作や加工の代金等二次的費用については一切責任を負いかねます
- ・予告無く仕様の変更や製品の改廃を行うことがあります

販売元

BELLEADWISE 株式会社 ベルアドワイズ

名古屋本社

460-0007 愛知県名古屋市中区新栄 2-42-28

TEL. 052-238-1411 FAX. 052-238-1416

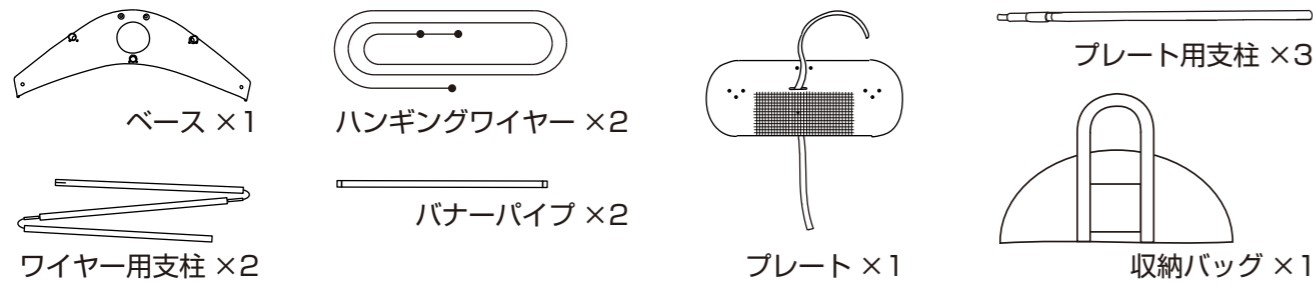
東京オフィス TEL. 03-3258-0021 FAX. 03-3258-0022

大阪オフィス TEL. 06-7668-1310 FAX. 06-7668-1311

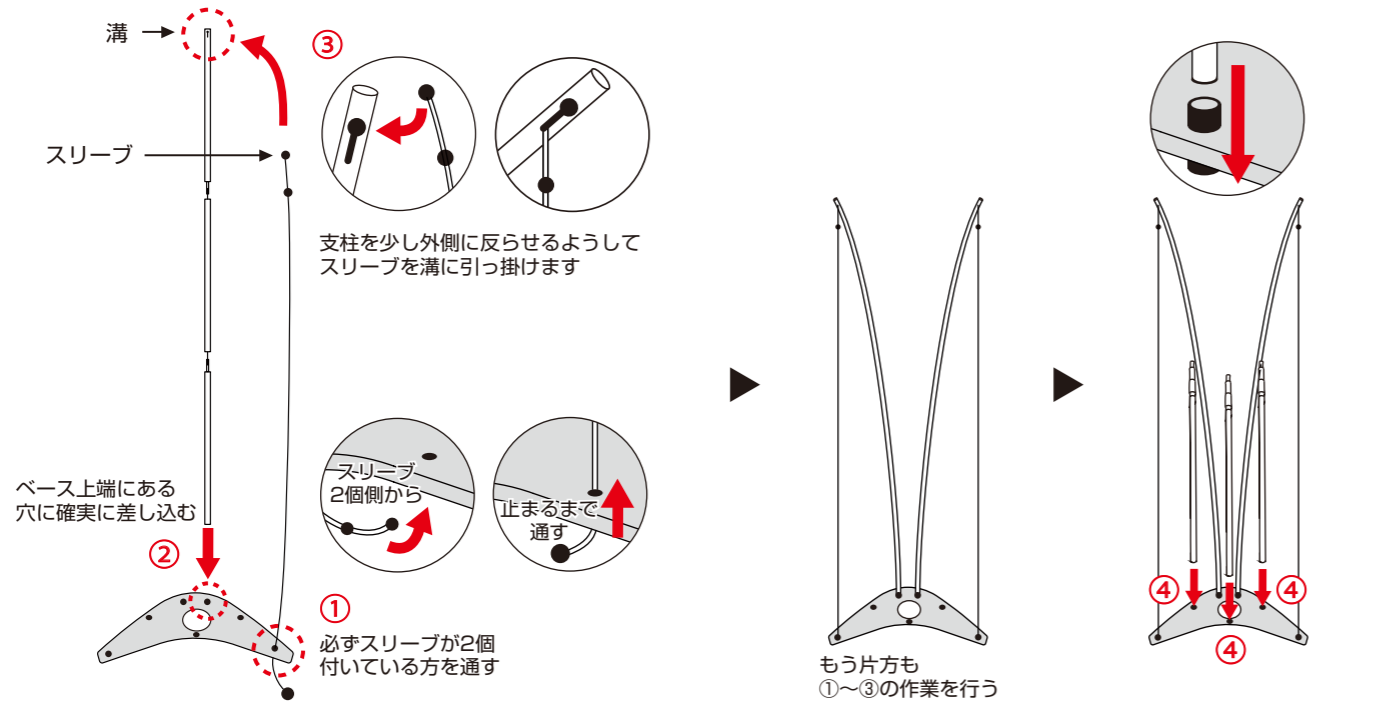
福岡オフィス TEL. 092-865-7712 FAX. 092-865-7716

Parts details 部材リスト

⚠ 本体にバナーとプロジェクターは含まれておりません

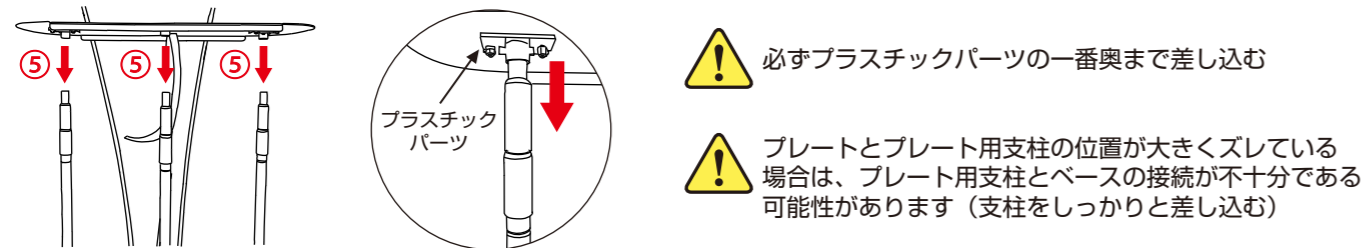


Set up instructions 組立方法



- ① ハングングワイヤーのスリーブが2個付いている方を持ってベースの両端の穴に底面から天面に向かって通す。
- ② ワイヤー用支柱を接続して1本にしてから、溝がある方を天面に向けてベース上端の穴に「しっかり」と差し込む。
- ③ ワイヤー用支柱上部の溝にハングングワイヤーの一番先端に付いているスリーブを引っかける。
- ④ プレート用支柱を3本全てベースの穴に差し込む。

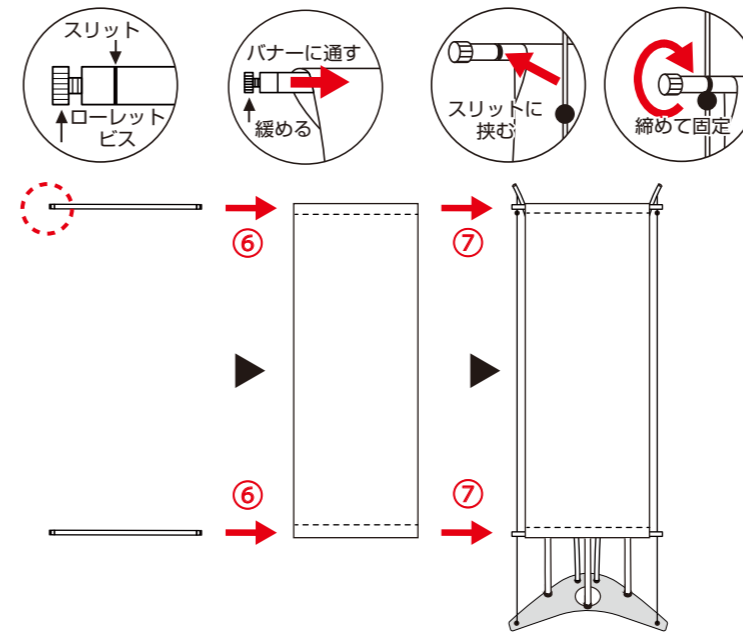
⚠ プレート用支柱は必ず一番底部まで差し込む



- ⑤ プレート用支柱の先端をプレートの裏面にある3つのプラスチックパーツにそれぞれ差し込む

⚠ 必ずプラスチックパーツの一番奥まで差し込む

⚠ プレートとプレート用支柱の位置が大きくズれている場合は、プレート用支柱とベースの接続が不十分である可能性があります(支柱をしっかり差し込む)



⚠ 手が届かない場合は、周囲の安全を十分に確認し頑丈な踏み台や脚立などを使用して作業すること

- ⑥ バナー上下の袋加工部分にバナーパイプを通す。
- ⑦ バナーパイプ両端のローレットビスを緩めてからスリット(溝)にハングングワイヤーを挟む。

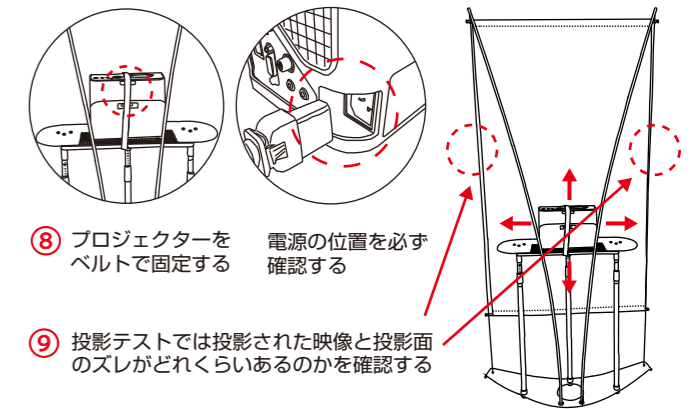
⚠ 落下防止のため、上部のバナーパイプは必ず上から2番目のスリーブの上にセットする!!

ハングングワイヤーが外れないようにしっかりとローレットビスを締めて固定する。

※ 下部のバナーパイプの位置にスリーブはありません
 ※ スリーブの位置は変更できません
 ※ バナーパイプはスリットがある面を背面側にする

- ⑧ プレートの上にプロジェクターを設置する。プロジェクターに落下防止用のベルトを巻きつける。
- ⑨ プロジェクターの電源を入れて投影テストを実施し投影された映像と投影面のズレを確認する。

⚠ プロジェクターの設置前に必ず電源の位置を確認し電源コードを無理に引っ張らないようにすること!!

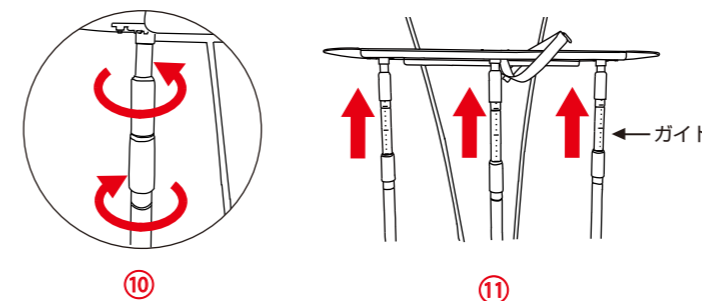


- ⑧ プロジェクターをベルトで固定する
- ⑨ 投影テストでは投影された映像と投影面のズレがどれくらいあるのかを確認する

推奨 超短焦点型プロジェクター

外形寸法	W257×D144×H221mm	出力光束	3,500lm
品番	RICOH PJ WX4152	本体重量	約 3.0kg ※周辺機器・部材は別途
		消費電力	313W (AC100V)

※外形寸法は突起部を含みません



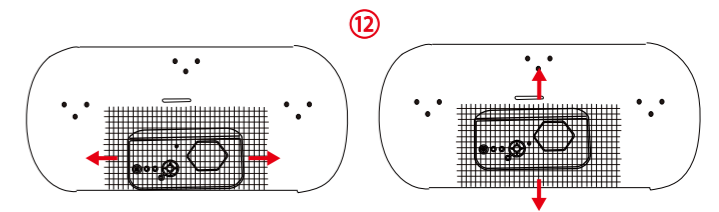
- ⑩ 一旦プレートからプロジェクターを降ろしてからプレート用支柱の長さを調整し、映像と投影面の位置が合うようにプレートの高さを調整する。
- ⑪ 支柱に付いているガイドを参考にして3本の支柱の長さを合わせて、プレートを水平にする。

⚠ プロジェクターの落下を防ぐため、プレートの高さ調整は必ずプロジェクターを降ろしてから行ってください!!

- ⑫ プレートの表面に付いているガイドを参考にしてプロジェクターの位置を微調整する

⚠ プレートに付いているガイドはバナーの重量や取り付け時のテンション等により、実際の垂直とは若干異なる場合があります

⚠ 投影位置及び投影サイズ、または明るさ色合いといった細かい調整や補正についてはプロジェクター本体の操作を行ってください



投影画像の中心が投影面より位置が左右にズれている場合、ガイドを使ってプロジェクターを左右に動かして微調整して下さい

投影画像のサイズが投影面より若干大きい、または小さい場合、ガイドを使ってプロジェクターを前後に動かして微調整して下さい